

金沢市地域おこし協力隊

受け入れハンドブック

令和7年4月現在

金沢市地域力再生課

金沢市では、若い世代や、移住者など、いわゆる外部人材を活用したまちづくりを推進しています。

その一環として、令和7年度より地域おこし協力隊を受け入れる地域を新たに公募することとなりました。

このハンドブックでは、地域おこし協力隊制度の概要や本市における受け入れ実績、受け入れまでの流れやそのポイントなどをまとめています。

皆様の活動へ地域おこし協力隊導入を検討する際に本書をご活用いただければ幸いです。

【目 次】

1. 地域おこし協力隊制度について	・・・	1
2. 金沢市の地域おこし協力隊	・・・	3
3. 受け入れ団体の募集について	・・・	5
4. 隊員受け入れの流れ	・・・	7
5. 受け入れにあたってのポイント	・・・	12

参考：金沢市地域おこし協力隊 OB・現役隊員の紹介・・・ 14

1. 地域おこし協力隊制度について

【地域おこし協力隊とは？】

地域おこし協力隊は、都市部の若者等が地方自治体の委嘱を受けて過疎地域等に移住し、概ね1年以上3年以下の期間、地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。平成21年度から制度が始まり、令和5年度は全国で7,200人の隊員が活躍しています。

全国の現役隊員の約7割が30代以下の若い世代で、約4割が女性と性別を問わず多くの方が活躍しています。また、約6割が任期終了後も同地区に定住しています。

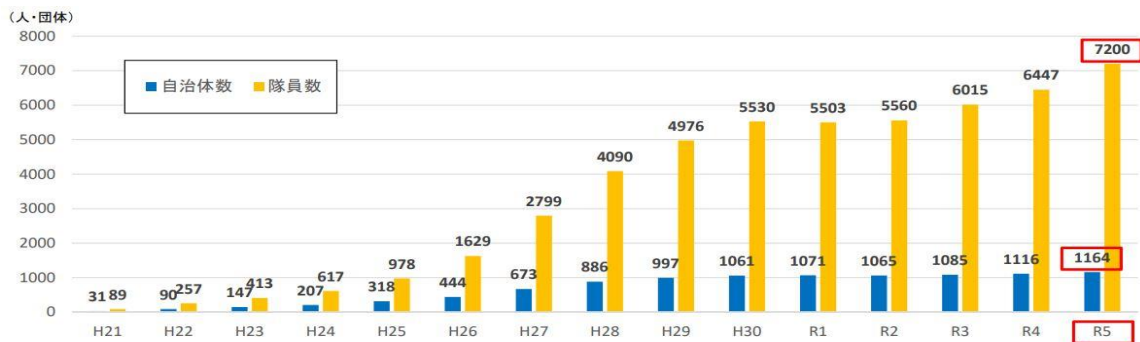
金沢市では、隊員への報償費や活動費にかかる金銭的支援のほか、隊員募集の実施、隊員・受け入れ団体への助言等様々な支援を行っています。

【制度概要】

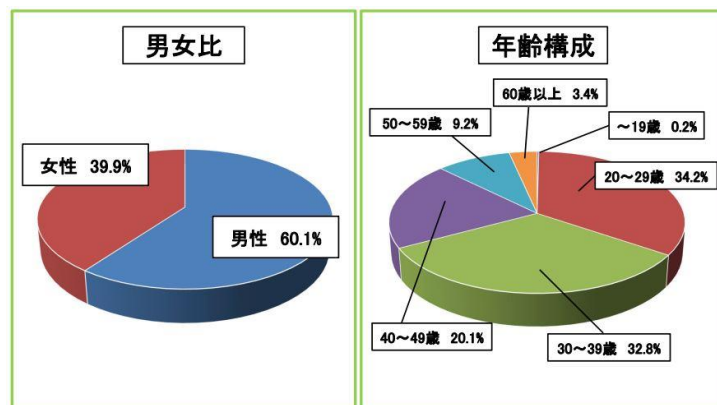
- 実施主体：地方自治体
- 活動期間：概ね1年以上3年以下
- 金沢市からの支援：
 - ・ 隊員への報償費 291,000円/月
 - ・ 隊員の活動費 2,000,000円/年
 - ・ 隊員募集の実施
 - ・ 隊員、受け入れ団体への助言・支援 等

(参考)・全国の隊員数推移 (H21～)

※出典：総務省「令和5年度地域おこし協力隊の隊員数等について」



・全国の隊員男女比・年齢構成 (R5)



【地域おこし協力隊を受け入れるメリット】

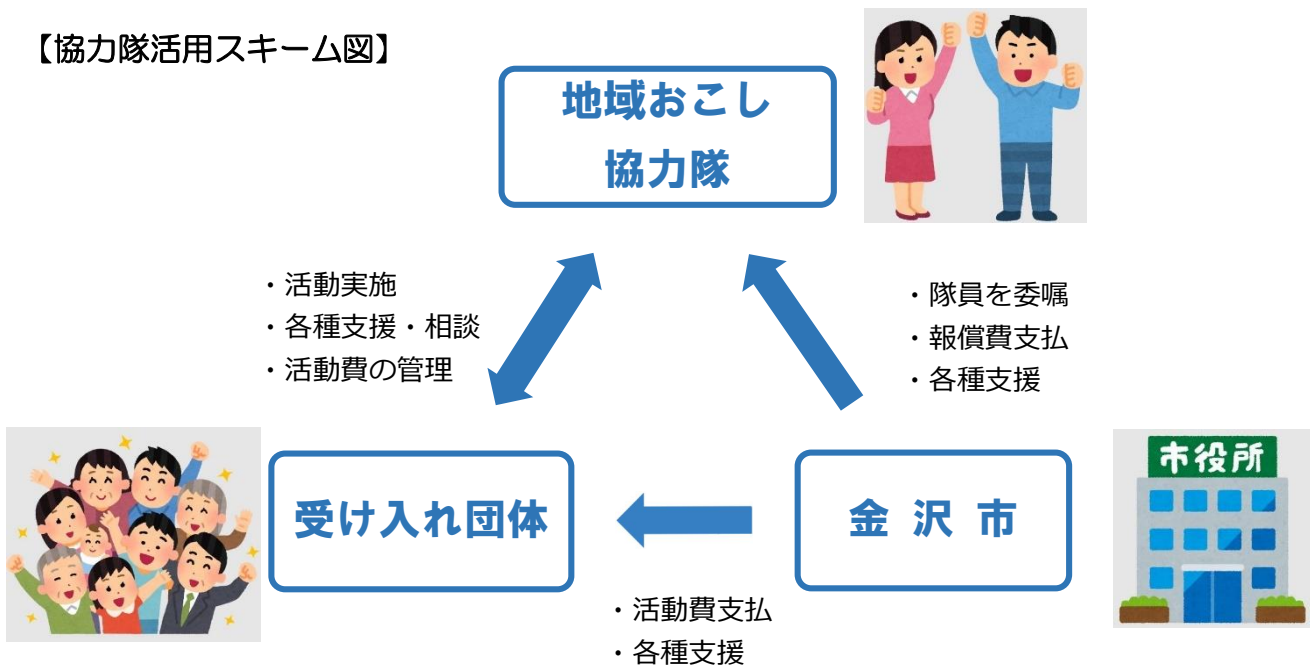
地域おこし協力隊を受け入れることで、いわゆる「ヨソモノ」の斬新な視点やアイデアを活動に取り入れることができ、従来とは違う新たな地域活性化のきっかけとなります。

また、任期終了後に地域に定着すれば、地域社会の新たな担い手としての役割も期待されます。

～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組～



【協力隊活用スキーム図】



2. 金沢市の地域おこし協力隊

金沢市では、平成 28 年に初めて協力隊を受け入れて以降、10 名（男性 6 名、女性 4 名）が各校下・地区に入って地域の方とともに様々な活動を行っています。また、これまでに卒業した隊員 4 名全員が金沢市内で起業・就職し、定住しています。

【金沢市地域おこし協力隊員の実績】

各隊員の実績や事例は以下のとおりです。受け入れを検討する際の参考としてください。また、各隊員の詳細をこのハンドブックの末尾に掲載しましたので、ぜひご覧ください。

校下 (地区)	隊員名	任期	主な活動内容
湯涌	黒瀬 博之	H28.10～R元.9	・地ビールの企画・販売 等
三谷	松田 優樹	H30.4～R3.3	・みたに朝市の開催 等
内川	高野 智司	R2.4～R5.3	・たけのこご飯の販売 等
犀川	山部 裕太	R4.4～R7.3	・カレーを通じた地域活性化の推進 等
三谷	前田 由紀雄	R6.4～	・自伐型林業の推進 等
三谷	前田 理沙	R6.4～	・自伐型林業の推進 等
内川	浜口 ゆきの	R6.4～	・たけのこ料理の継承・販売 等
金石	山口 和歌南	R6.5～	・地域団体の支援 等
大野	小泉 範剛	R6.9～	・絵画による地域活性化の推進 等
森本	石関 雅羽	R6.9～	・地域と連携した特産品づくり 等

【隊員の処遇等】

身 分	金沢市が地域おこし協力隊として委嘱 (市・受け入れ団体との雇用関係なし)
任 期	1 年とし、最長 3 年まで延長可能
報償費	月額 291,000 円 (市が隊員へ支給)
活動費	年額 2,000,000 円 (市が受け入れ団体へ支給) ※市・受け入れ団体で委託契約を締結 ※使用できる経費は下記のとおり
活動時間	概ね 1 週間 40 時間程度
活動拠点	原則として、受け入れ団体の活動拠点・活動地域を勤務地として活動
住 居	活動地域内において受け入れ団体が斡旋
兼 業	活動に支障がない範囲において、任期終了後の定住・起業を見据えた兼業が可能

【活動費を充てることができる経費】

- ① 住居、活動用車両の借上費
- ② 活動旅費等移動に要する経費（燃料代含む）
- ③ 作業道具、消耗品等に要する経費
- ④ 関係者間の調整、住民や関係者との意見交換、活動報告会等に要する経費
- ⑤ 研修に要する経費
- ⑥ 定住に向けて必要となる研修、資格取得等に要する経費
- ⑦ 定住に向けて必要となる環境整備に要する経費
- ⑧ 外部アドバイザーの招へいに要する経費等

※隊員の個人的支出や、隊員の活動と関係しない団体の支出には充てることができません。

※用途は隊員・受け入れ団体・市と協議の上決定します。

【参考：金沢市広報番組「いいね金沢」地域おこし協力隊紹介番組】

令和7年2月15日（土）に市内で活動する地域おこし協力隊を紹介するテレビ番組が放送されました。

下記2次元コードからぜひご覧ください。



https://www.youtube.com/watch?v=PqgEfH_X3OA&t=1s

3. 受け入れ地域の募集について

令和7年度は2地域程度を募集します。(活動開始は令和8年4月1日を予定)

【対象者】

- ① 校下(地区)町会連合会
- ② ①から導入の承認を受けた町会・公民館
- ③ ①から導入の承認を受けた地域団体(商店街等)及びNPO法人等

※③については、以下のすべてに該当することが必要です。

- ・地域への貢献性・公共性が高い活動を行っている又は行う予定であること
- ・活動する校下(地区)の町会連合会及び町会と協働・連携して取組を推進すること
- ・その他、市税滞納がない、政治・宗教団体でないこと 等

【協力隊を活用できる活動について】

地域おこし協力隊を活用できる活動は次のとおりです。ただし、単なる事務作業など不足人員を補充するような活用はできません。

また、着任後のトラブルを避けるためにも、隊員がある程度裁量を持って活動できるような内容にすることや、任期終了後の起業・就業のための準備活動にも配慮する必要があります。

- ① 地域の活性化に係る支援活動
 - ・地域行事、イベント企画
 - ・伝統芸能、祭の復活
 - ・地場産品等の開発・販売・プロモーション
 - ・空き店舗活用など商店街の活性化 など
- ② 農林水産業への従事
- ③ 環境保全に係る活動
- ④ 住民の生活支援に関する活動
- ⑤ スポーツ及び文化に関する活動

なお、上記に加え、以下のすべてに該当する活動であることが必要です。

- ① 本市や地域の考えるまちづくりの方針と合致する活動
- ② 隊員と協働・連携することで、地域の活性化が期待できる活動
- ③ 隊員の任期終了までに一定の成果が上げられると見込まれる活動
- ④ その他、活動期間が1年以上であること 等

【申込方法等について】

申込書に必要事項を記載の上、6月30日（月）までに地域力再生課まで提出してください。

【選考について】

申込書を元に、以下の基準に基づいて書類審査・プレゼンテーション審査を実施します。

- ① 適正性 活動内容が、地域の活性化に資するものであること
- ② 必要性 成果を生み出す上で、外部人材である隊員の導入が必要であること
- ③ 実現性 隊員にとって適切な難易度の活動であること
- ④ 協調性 隊員と地域が連携した活動であること
- ⑤ 活動体制 隊員の活動等のサポートができる体制が整っていること
- ⑥ 定住への配慮 隊員の任期後の定住を見据えた活動であること

※その他詳細については、「金沢市地域おこし協力隊受け入れ地域募集要項（令和7年4月市ホームページ掲載予定）をご覧ください」

4. 隊員受け入れの流れ

【隊員受け入れの基本的な流れ（令和7年度）】

※かっこ内の日程は地域等との調整・準備や隊員の応募状況等により前後します。



① 協力隊導入の検討・協議（4～6月）

- ・地域や団体内で地域おこし協力隊を導入するかどうかを検討・協議します。
- ・校下（地区）町会連合会以外の団体にとっては、活動を行う校下（地区）の町会連合会と協議し、承認を得ることが必要です。
- ・検討の際には、p12～の「隊員受け入れ時の心構えについて」をよくご確認の上、隊員を受け入れることが適切かどうかを判断してください。

【主な事務分担】

受け入れ地域	<ul style="list-style-type: none">・地域おこし協力隊の導入を地域・団体内で検討・協議・校下（地区）町会連合会以外の団体にとっては、校下（地区）町会連合会との協議、承認
--------	---

② 受け入れ地域の申込（～6月30日）

- ・募集要項や市からの説明を確認した上で、申込書の作成を行ってください。
（申込書は令和7年4月に市ホームページに掲載予定です）
- ・募集にあたっての概要や注意点等について、以下のとおり説明会を開催しますので、必要に応じて参加してください。

【説明会】日時：令和7年4月17日（木）11:00～

場所：金沢市役所第二本庁舎2階 2202 会議室

申込：以下2次元コードからお申込みください。

〈説明会申込2次元コード〉



【主な事務分担】

受け入れ地域	<ul style="list-style-type: none">・申込書の作成・提出・（募集説明会への参加）
--------	---

③ 申込内容の審査・決定（7月）

- ・提出があった申込書を元に、どの団体に協力隊を導入するか審査を行います。
- ・2次審査はプレゼンテーションを行いますので、担当の方の出席をお願いします。

【主な事務分担】

受け入れ地域	<ul style="list-style-type: none">・審査への出席、説明
--------	--

④ 隊員募集内容の協議（8～9月）

- ・申込書を元に、「どのような地域にしたいか」「どのような隊員に来てほしいか」等を受け入れ地域と市で話し合い、募集要項を作成します。

【主な事務分担】

受け入れ地域	・募集内容の詳細協議
金沢市	・募集内容の詳細協議、募集要項の作成

⑤ 隊員の募集（10～11月）

- ・作成した募集要項を元に市が採用活動を行います。
- ・受け入れ地域は、地域への周知等、市が行う採用活動への協力を行います。

【主な事務分担】

受け入れ地域	・採用活動への協力（周知等）
金沢市	・採用活動（インターネット、SNS、各種イベントへの出展等） ・希望者からの相談受付、現地案内 等

⑥ 選考・内定者決定（12～1月）

- ・隊員希望者からの申込書を元に1次審査（書類）、2次審査（面接）を行います。
- ・面接については、受け入れ地域の代表者も参加の上、市・受け入れ地域で内定者を決定します。

【主な事務分担】

受け入れ地域	・2次審査（面接）への参加
金沢市	・応募者との連絡、調整 ・1次審査（書類）、2次審査（面接）の実施

⑦ 受け入れ準備（2～3月）

- ・受け入れに向けて必要となる準備を行います。
- ・活動開始前に隊員・受け入れ地域・市の3者で打合せを行い、活動方針・内容の確認や待遇等について確認を行います。

【主な事務分担】

受け入れ地域	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員の住居の準備 ・活動拠点の準備 ・活動用自動車について協議 ・団体内の役割分担確認 ・活動費受払口座準備 ・活動保険準備 ・その他活動に必要な環境の整備
金沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・3者打合せの連絡、調整 ・準備に関する助言 等
協力隊員	<ul style="list-style-type: none"> ・引っ越し ・ライフライン契約 ・必要書類の作成、提出

⑧ 活動開始（令和8年4月～）

- ・隊員の活動にあたり、必要な助言やサポートを行います。
- ・特に活動開始期にあたっては、隊員が地域での人間関係を円滑に構築できるよう、積極的に他の地域団体への紹介や地域イベントへの参加を勧めてください。
- ・隊員が活動や日常生活等について相談する場として、隊員・受け入れ地域・市の3者が参加する「サポート会議」を原則として月に1回開催します。
- ・また、市から隊員に向けて、金沢市の隊員同士の交流会や研修会の案内等を行います。

【主な事務分担】

受け入れ地域	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員の活動支援、相談対応 ・活動費の管理、支出 ・各地域団体等への隊員の紹介 ・サポート会議への出席（月1回）
金沢市	<ul style="list-style-type: none"> ・活動費の支払い（受け入れ団体へ一括支払） ・各種助言 ・サポート会議への出席（月1回） ・隊員同士の交流、研修機会の提供
協力隊員	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の実施 ・活動内容の報告 ・サポート会議への出席（月1回）

なお、これまで述べた受け入れ・活動にあたっての準備事項等を以下のリストにまとめましたので、参考としてください。

色分けは、負担感の目安です（赤…負担大、緑…負担中、青…負担小）

【受け入れ・活動にあたっての準備事項等】

項目・時期	受け入れ地域の準備事項等
① 協力隊導入の検討・協議 (4～6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の導入を地域・団体内で検討・協議 ・(校下(地区)町会連合会との協議、承認)
② 受け入れ地域の申込 (～6月30日)	<ul style="list-style-type: none"> ・申込書の作成・提出 ・(募集説明会への参加)
③ 申込内容の審査・決定 (7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・審査への出席、説明
④ 隊員募集内容の協議 (8～9月)	<ul style="list-style-type: none"> ・募集内容の詳細協議
⑤ 採用活動 (10～11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・採用活動への協力(周知等)
⑥ 選考・内定者決定 (12～1月)	<ul style="list-style-type: none"> ・2次審査(面接)への参加
⑦ 受け入れ準備 (2～3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員の住居の準備 ・活動拠点の準備 ・活動用自動車について協議 ・団体内の役割分担確認 ・活動費受払口座準備 ・活動保険準備 ・その他活動に必要な環境の整備
⑧ 活動開始 (4月～)	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員の活動支援、相談対応 ・活動費の管理、支出 ・各地域団体等への隊員の紹介 ・サポート会議への出席(月1回)

5. 受け入れにあたってのポイント

○地域おこし協力隊の趣旨・目的を理解する

地域おこし協力隊は、受け入れ地域にとって共に活動を進める「パートナー」であり、人手不足への補填人員ではありません。活動を検討した結果、隊員を受け入れず、地域住民だけで活動を進めることも選択肢の1つです。

また、地域おこし協力隊の取組は受入地域・団体の主体的な取組が前提となります。活動を隊員任せにすると、隊員への依存が生まれ、むしろ地域・団体の力が落ちてしまうことも考えられます。

○隊員の活動内容をイメージする

隊員に期待する活動のイメージを団体・地域で共有しておくことが重要です。期待する役割をイメージしつつも、着任する隊員が持っているスキルや希望にも、ある程度沿えるかどうか大切です。活動イメージが全くできていなくても隊員が困りますが、活動イメージにこだわりすぎても窮屈な活動になり、後々両者の間でトラブルが発生するおそれがあります。大きな目標を持ちつつ、柔軟性がある活動イメージを持っておくことが大切です。

○活動内容に合わせた人物像を設定する

どんな人が着任すると活動が円滑に進むのか、求める人物像を想定します。その際、いわゆるスーパーマンを想定するのではなく、地域おこし協力隊の処遇で活動してくれそうな、現実的な人物像を想定することが重要です。地域おこし協力隊には地域での活動に関心や意欲のある人材が応募してきますが、応募者ごとに個性や得意分野があります。受入地域でイメージした活動内容にあった人材像が描けていれば、応募者とのマッチングがうまくいく傾向があります。

○任期終了後の定着に向けた活動の重要性を理解する

隊員が任期終了後も地域に定着するためには、その地域で生計を立てることが不可欠です。隊員は最大3年の任期の間に、起業・就農・就職などについて考え、準備をする必要があります。時には地域の求める活動とのバランスが取れなくなることも想定されますが、隊員の考えや生活設計にも十分配慮した活動体制を柔軟に検討・調整することが重要です。

○隊員に対するサポート体制について検討する




県外から移住して活動に取り組む隊員と信頼関係を構築し、円滑に活動を行うには、隊員からの疑問や相談に応える体制をつくることが大切です。




金沢市では、月に1度、隊員・受け入れ団体・市の3者で活動の相談や今後の方向性を協議する「サポート会議」を開催し、隊員が円滑に活動できるようサポートしますが、隊員が日常の悩みなどを気軽に相談できる人が受け入れ団体や地域にいることが重要です。


受入直後の隊員と受入地域をつなぐ支援(受入地域のキーパーソンや人間関係の紹介など)や生活上の小さな悩みへの対応など、様々なサポートが活動の成果を高めます。




【参考：金沢市地域おこし協力隊 OB・現役隊員の紹介】

○任期終了隊員（OB）




校下・地区	湯涌	
隊員名	黒瀬 博之（着任時 40 代）	
前住所	神奈川県茅ヶ崎市	
任期	平成 28 年 10 月 1 日～令和元年 9 月 30 日	
受入団体	花咲く湯涌・まちづくりネットワーク推進プロジェクト	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化に取り組む上記団体の支援（イベント支援・企画等） 地域資源を活用した特産品の開発（麦・ホップの産地化、湯涌谷ビール企画・販売） 	
任期終了後	<ul style="list-style-type: none"> BAR&雑貨店「LA FERMATA（ラ フェル マータ）」オープン（湯涌田子島町） ファーム湯涌バレーのメンバー（地ビール用のホップ・麦の栽培） 湯涌温泉観光協会会員 	



校下・地区	三谷	
隊員名	松田 優樹（着任時 30 代）	
前住所	大阪府大阪市	
任期	平成 30 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日	
受入団体	三谷地域おこし支援隊	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化に取り組む上記団体の支援 みたに朝市の開催（年 2 回） 空き家利活用プロジェクト（空き家調査・入居案内） 三谷地区の情報発信（SNS、冊子等） 	
任期終了後	<ul style="list-style-type: none"> 市内に就職 みたに朝市実行委員会の企画・運営 地域イベント活動への協力 	




校下・地区	内川	
隊員名	高野 智司（着任時 20 代）	
前住所	埼玉県さいたま市	
任期	令和2年4月1日～令和5年3月31日	
受入団体	内川振興協議会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援 ・地域の伝統の味を受け継いだ「たけのこご飯」の販売 ・獣害対策活動の取り組み ・小規模林業の実践 	
任期終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・「たけのこご飯」の販売継続 ・小規模林業の実践継続 ・内川地区の竹加工業の継承に向け研修 	

校下・地区	犀川		
隊員名	山部 裕太（着任時 30 代）		
前住所	北海道札幌市		
任期	令和4年4月1日～令和7年3月31日		
受入団体	犀川すみよいまち・里づくり推進協議会		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援 ・犀川地区の情報発信（SNS 等） ・地域特産品を使ったカレー店開業への取り組み ・カレーを活かした地域交流イベント等の実施 		
任期終了後	<ul style="list-style-type: none"> ・「カレーハウスやまねこ亭」オープン（末町） 		




○現役隊員




校下・地区	三谷	
隊員名	前田 由紀雄（着任時 40 代）	
前住所	東京都昭島市（夫婦で協力隊として移住）	
任期	令和6年4月1日～	
受入団体	東原町地域活性化実行委員会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援 ・自伐型林業に向けて金沢林業大学校へ入校（令和7年4月） ・伐採から窯づくり、炭焼きの実践 ・原木シイタケの栽培 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

校下・地区	三谷	
隊員名	前田 理沙（着任時 40 代）	
前住所	東京都昭島市（夫婦で協力隊として移住）	
任期	令和6年4月1日～	
受入団体	東原町地域活性化実行委員会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援 ・伐採から窯づくり、炭焼きの実践 ・原木きのこ栽培 ・農作物栽培、朝市、地元イベントへ参加 	

校下・地区	内川	
隊員名	浜口 ゆきの (着任時 20代)	
前住所	東京都杉並区	
任期	令和6年4月1日～	
受入団体	内川振興協議会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援 ・地区特産のたけのこ料理の継承・販売 ・地域の子供たちを主な対象とした「内川アート倶楽部」の企画・運営 ・木工、竹細工等の地域素材を活かしたものづくり <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

校下・地区	金石	
隊員名	山口 和歌南 (着任時 20代)	
前住所	東京都調布市	
任期	令和6年5月1日～	
受入団体	かなラボ	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援 (各種イベント補助、広報等) ・ミシンメーカー勤務の経験を活かした編み物のワークショップ開催等 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

校下・地区	大野	
隊員名	小泉 範剛（着任時 20 代）	
前住所	北海道札幌市	
任期	令和6年9月1日～	
受入団体	大野町商工振興会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援 ・アートによるまちづくりを目指し、大野町を描いた絵画の制作やワークショップの実施等に取り組む <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

校下・地区	森本	
隊員名	石関 雅羽（着任時 20 代）	
前住所	埼玉県上尾市	
任期	令和6年9月1日～	
受入団体	森本商店街振興会	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む上記団体の支援（各種イベント補助等） ・森本地区のフードマップ作成や各種団体と連携した特産品づくり等に取り組む <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

【地域おこし協力隊制度に関するお問い合わせ】

金沢市都市政策局地域力再生課

電話：076-220-2034

Mail：chiikiryouku@city.kanazawa.lg.jp